朝倉秀康（あさくらひでやす）

市民クラブ

各インターチェンジへの誘客対策は

～ 関係機関との連携を図る ～

質 間近に迫った中九州横断道路は朝地インター、さらには竹田インターへと開通するが、本市の対応策は。

答 市長

それぞれの道の駅では新たな商品の開発、販売面積の拡張およびイベントの開催など、積極的な対策を講じています。

また、新たな案内看板の設置についても、県および国土交通省に対して引き続き要請し、関係機関との連携を図り、本市が通過されるだけの場所にならないよう、引き続き対策を講じていきます。

朝地インターチェンジ

質 流出する若者の定住対策は検討されているのか。

答 市長

住宅対策として本定例会に2つの条例を提案しており、市外の若者が本市に居住しやすい内容となっていますので、平成26年度からの若者定住対策につなげていきたいと考えています。

大雪災害の迅速（じんそく）な救援策を

～ 県や農協と連携し支援 ～

質 今回の大雪で農業施設の被害は甚大で風評被害に追い打ちをかけられた感がする。

作物も生き物であり、迅速な救援策について伺う。

答 農業振興課長

金融支援策として、農業近代化資金などの融資に対し、県と市町村が上乗せ利子補給を行う制度が2月19日付けで発動されると同時に、大分県特定災害対策資金の融資枠が拡大されました。

さらに、国においては災害関連資金の無利子化と農業用ハウスなどの再建および修繕への助成として、被災農業者向け経営体育成支援事業により、農業用ハウス・棚などの再建・修繕および再建を前提として取り壊したハウスなどの撤去に要する経費を助成することになりました。

今後も、引き続き県や農協と連携を取りながら、復旧・再建に向けた支援を講じて行きたいと考えています。

※その他の質問
・ふるさとおおのの活用について

宮成寿男（みやなりとしお）
清風クラブ

三重新殿バイパスの早期完成を

～ 平成 26 年度より着手 ～

質 中九州横断道路と市の中心部を結ぶ三重新殿バイパス牟礼前田工区の経過と変更計画は。

答 市長

懸案であった長大橋（ちょうだいきょう）が架橋される牟礼前田工区は、※事業評価委員会より平成25年11月に事業実施妥当の評価を得たことから、平成26年度より着手の運びとなりました。

主な変更点は、計画交通量の減少により、農業大学校から内田までが4車線から2車線に、歩道の幅員は3・5メートルから2・5メートルに変わりました。

また、早期に供用するため秋葉内田工区については、内田鬼塚線に沿ったルートに変更されています。

危険な犬飼インターの改良を

～ 国土交通省へ改善を要望 ～

質 犬飼インターは国道57号、国道326号からの進入車線が短く、その上カーブの位置にあり、非常に危険な状態である。

国、県へ改善を要望してはどうか。

答 建設課長

聞き取り調査をした結果、多くの方が危険であると感じていました。

早速、国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所に対し、改善を要望します。

犬飼インターチェンジ合流地点

地域防災力の充実・強化を

～ 補助金制度を新設 ～

質 消火栓などの消防設備が整備されている地区に対して、消火器具の支給や補助をしてはどうか。

答 総務課長

地域住民による自主防災活動の促進を図ることを目的に、「自主防災組織活動事業費補助金」を新設し、防災資機材の整備に対する助成を考えています。

補助対象としては、簡易無線機やヘルメット、ホース、消火器など初期消火に必要な資機材も含まれており、地域における災害応急体制の強化、防災意識の高揚に努めていただきたいと思います。

※ 事業評価委員会（大分県事業評価監視委員会）＝学識経験者等で構成する第三者機関であり、諮問する事業を総合的に検討、審議を行い、県に対して審議結果の答申を行う。県は答申を尊重して今後の対応方針等決定していく。